

学校再編についての保護者との意見交換の概要

期 日	平成 24 年 8 月 21 日 (火)	時 間	19 : 00 から 21 : 29 まで
場 所	市木中学校 被服室		
出席者 (学校関係者を含む。)	20 名		
事 務 局	教育委員 (教育長を含む。) 5 名 学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、教育総務係長		
No.	質 問	回 答	
1	串間市の財政を考えて学校再編をすべきではないか。	串間市の財政事情からするとゆとりがあるわけではないので、既存の施設を活用することになる。ただ施設面で不足する場合には予算が必要になる。	
2	市木中学校は統廃合しないよう考えていただきたい。	審議会において、学校再編を進めるよう答申されている。教育委員会では現在のところ中学校は何校になるかは決定しておりません。	
3	学校再編はいつまでに解決する考えなのか。	子どものために早く方向性を見出さなくてはならない。	
4	串間市の学校の将来を考える会、また串間市小中学校規模適正化審議会の委員に市木地区の役員、保護者は入っているのか。	自治会、PTA会長が入っていた。	
5	職場が日南市であり、もし子どもがけが等がかかりつけ医にかからなければならぬとき、それが日南であれば大変だ。	急を要する場合は、学校は保護者と連携してタクシーで搬送することが基本であるが、かかりつけ医が日南である場合の対応については考えないといけない。	
6	1校か2校かになった場合、2校の場合にはどのように考えているのか。	まだ決まっていない。	
7	スクールバスは部活動をした子どもたちも利用できるのか。	6 km以上の生徒についてはスクールバスでの対応を考えている。登校時は1便、下校時は部活動をする生徒しない生徒に関わらず、2便で対応するというところで協議中である。	
8	スクールバスを走らせる場合、市木地区だけなのか、それともほかの地区も回るのか。	スクールバスを走らせることになれば、都井、本城を通っていくことは考えられないので、市木は市木の中で最短距離を走らせ	

		ることになる。
9	スクールバスの通行ルートをあらかじめ決めて再編を決めてほしい。	子どもたちに負担をかけないような設計はできていないが、考えておかないといけない。
10	スクールバスは無料なのか。	将来にわたって行政の責任として、無料で考えている。
11	市木小築島分校は休校中だが、どうなっているのか。	今後も引き続き協議していくことを保護者と話している。
12	保護者の意見は大事だと考える。学校別にアンケートをとって学校再編をどうしたらいいのかまとめたらどうかと考える。また生徒の考えも聞いた方がいい。	基本的にアンケートはしない方向で考えている。率直な意見を聞く場が「教育長と語る会」と捉えている。新たな学校再編を決めた後に、例えば制服等を決めるときなど、PTA等のアンケートを取る場合はある。
13	来年度、市木中学校では複式学級が出てくるので、その保護者の意見を聞くといいのではないか。	運用上で複式が解消できることもある。
14	音楽の先生が家庭科の授業、体育の先生が技術の授業をしていたが、自分たちが生徒のころと変わらない。何か誘導しているようだ。	学校の規模によって先生の人数や担当する教科が変わる。

No.	意見等	
1	登下校の時間を考えた場合、部活動ができるのか。	
2	自分たちの子どものために、より多くの意見を出していただいてまとめることがいいのではないか。	
3	バスで通った経験があるが、非常にきつかった。	
4	保育所、小学校、中学校近くにある所で育てたい。	
5	市木ということのプライドがあり、再編は許せないと思う。	
6	小規模校だからといって大きな学校に行かせるということは生徒にとっては酷である。そういうことを考慮してより良い方法がないか考えてほし	

	い。いいところも目を向けていただきたい。私たちの主張も受け入れていただきたい。	
7	学校再編は中学校だけの問題だけではなく、保育所、小学校の問題でもある。	